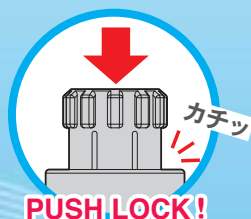


## クイック継手付レギュレータ



プッシュロック式ツマミにより  
固定、調圧作業が楽に操作

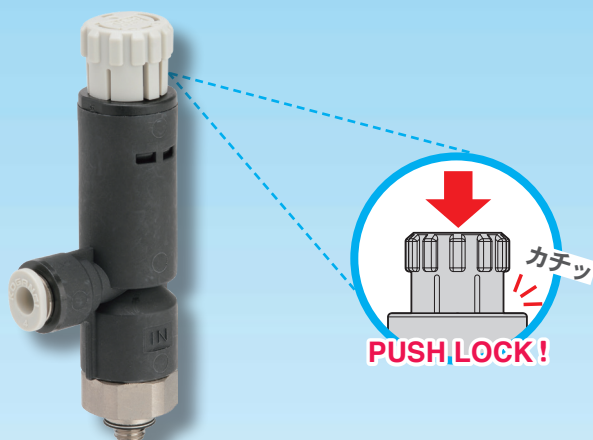
- 1.3倍に流量増加 圧力変動幅が減少
- リリーフ機構付き
- 圧力計付を用意



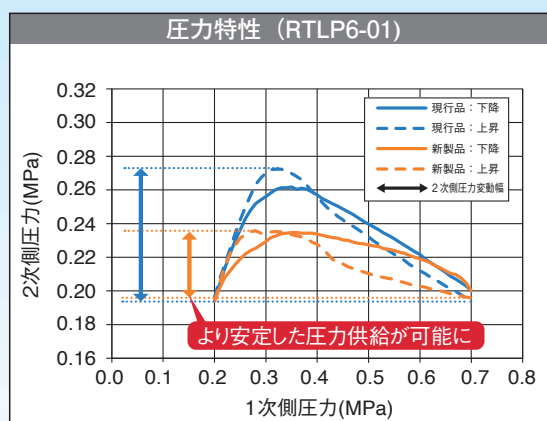
# クイック継手付レギュレータ

- プッシュロックタイプエルボ (圧力計なし・圧力計付)
- プッシュロックタイプユニオン (圧力計なし・圧力計付)

- プッシュロック式ツマミにより固定, 調圧作業が片手で操作できます。
- プッシュロック式ツマミは機械の揺動などによるロックナットの緩み防止に最適です。



- 新構造により、現行品の約1.3倍の流量が得られます。さらに圧力変動幅が減少しより安定した圧力供給が可能になりました。

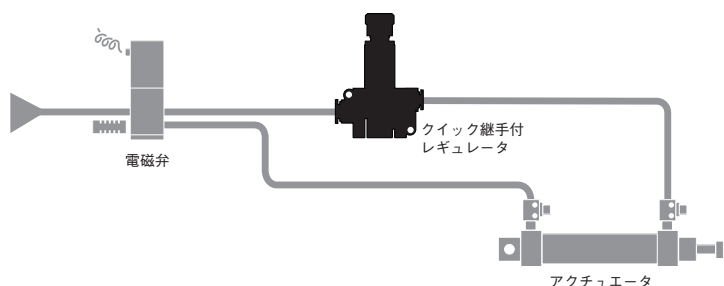


注: 1次側圧力: 0.7MPa, 2次側圧力: 0.2MPaに設定後、  
1次側圧力: 0.7MPa → 0.2MPa → 0.7MPaと変動。

- チェック機構内蔵

電磁弁とアクチュエータの間に設置し、チェック機構内蔵レギュレータとして使用可能です。

- 機器の調整などに便利なリリース機構付きです。



- 圧力計付をラインナップしました。  
圧力計の向きは任意の向きに回転できます。

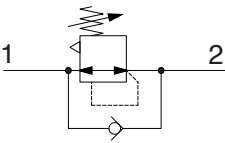
エルボ 圧力計付

ユニオン 圧力計付

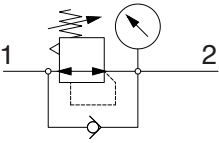


表示記号

●圧力計なし



●圧力計付

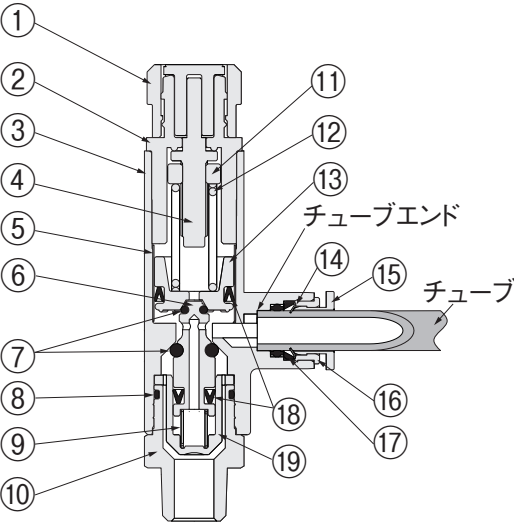


仕様

項目	形式	RTLP□-□-□	RTUP□-□-□
		エルボ	ユニオン
使用流体	空気（真空には使用できません）		
使用圧力範囲	0～1.0MPa		
設定圧力範囲	0.1～0.8MPa		
表示圧力範囲	0～0.8MPa		
精度（圧力計）	±5%（フルスケール）		
使用温度範囲	0～60℃（凍結なきこと）		
推奨チューブ	ナイロンチューブ・ウレタンチューブ		
販売単位	1個		

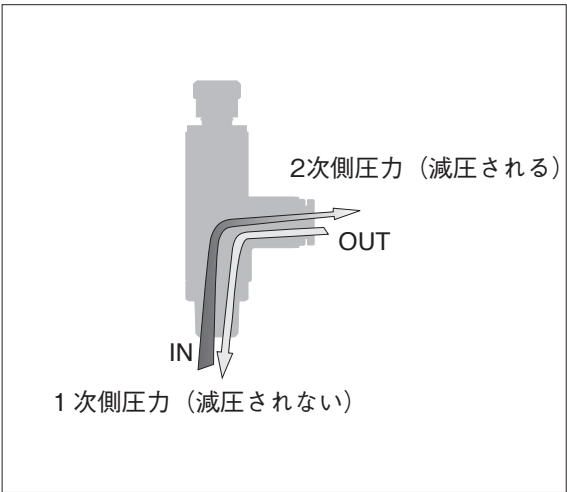
内部構造と主要部材質

●エルボ (RTLP□-□) の場合



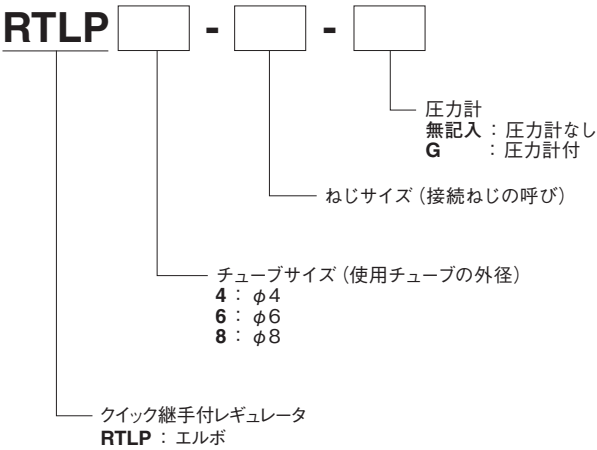
No.	名称	材質
①	調圧ツマミ	POM
②	ボンネット	POM
③	樹脂本体	PBT
④	調圧ねじ	黄銅、無電解ニッケルめっき
⑤	ライナー	黄銅、無電解ニッケルめっき
⑥	弁体	POM
⑦	Oリング	HNBR
⑧	Oリング	NBR
⑨	弁体スプリング	ステンレス
⑩	金属本体 <sup>注</sup>	黄銅、無電解ニッケルめっき
⑪	調圧ナット	SPCC、電気亜鉛めっき
⑫	調圧スプリング	ピアノ線
⑬	ピストン	POM
⑭	ロック爪	ステンレス
⑮	開放リング	POM
⑯	ガイドリング	黄銅、無電解ニッケルめっき
⑰	弾性体スリーブ	NBR
⑱	Vパッキン	NBR
⑲	弁体ガイド	POM

注:管用テーパーねじはシーロック加工、メートルねじはガスケット付属（SUS304+NBR）。



注文記号

●エルボ



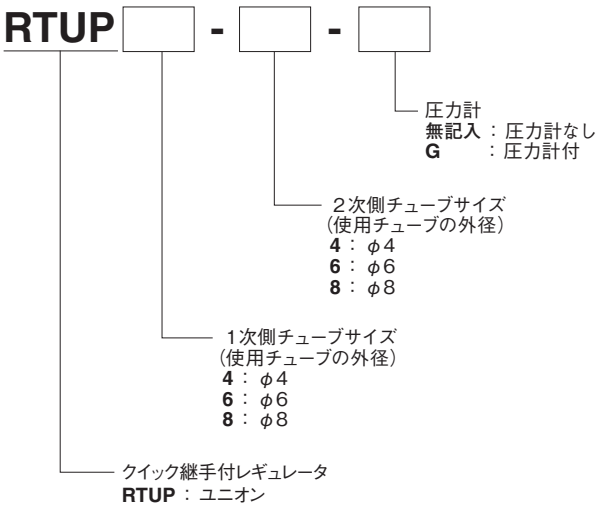
エルボ 圧力計なし



エルボ 圧力計付

チューブ サイズ	ねじサイズ		
	M5×0.8	R1/8	R1/4
4	M5	01	—
6	M5	01	02
8	—	01	02

●ユニオン



ユニオン 圧力計なし



ユニオン 圧力計付

1次側 チューブ サイズ	2次側チューブサイズ		
	φ4	φ6	φ8
4	4	—	—
6	4	6	—
8	—	6	8





機種種の選定および当該製品のご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

以下に示す注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。

ISO4414 (Pneumatic fluid power - General rules and safety requirements for systems and their components)、

JIS B 8370 (空気圧システム通則) およびその他の安全規則と併せて必ず守ってください。

指示事項は危険度、障害度により「危険」、「警告」、「注意」、「お願い」に区分けしています。

 <b>危険</b>	明らかに危険が予見される場合を表わします。 表示された危険を回避しないと、死亡もしくは重傷を負う可能性があります。 または財産の損傷、損壊の可能性があります。
 <b>警告</b>	直ちに危険が存在するわけではないが、状況によって危険となる場合を表わします。 表示された危険を回避しないと、死亡もしくは重傷を負う可能性があります。 または財産の損傷、損壊の可能性があります。
 <b>注意</b>	直ちに危険が存在するわけではないが、状況によって危険となる場合を表わします。 表示された危険を回避しないと、軽度もしくは中程度の傷を負う可能性があります。 または財産の損傷、損壊の可能性があります。
 <b>お願い</b>	負傷する等の可能性はないが、当該製品を適切に使用するために守っていただきたい内容です。

■当該製品は、一般産業機械用部品として、設計、製造されたものです。

■機器の選定および取扱いにあたっては、システム設計者または担当者等十分な知識と経験を持った人が必ず「安全上の注意」、「カタログ」、「取扱説明書」等を読んだ後に取り扱ってください。取扱いを誤ると危険です。

■「取扱説明書」等をお読みになった後は、当該製品をお使いになる方がいつでも読むことができる場所に、必ず保管してください。

■「取扱説明書」等は、お使いになっている当該製品を譲渡されたり貸与される場合には、必ず新しく所有者となられる方が安全で正しい使い方を  
知るために、製品本体の目立つところに添付してください。

■この「安全上のご注意」に掲載しています危険・警告・注意はすべての場合を網羅していません。カタログ、取扱説明書をよく読んで常に安全を第一に考えてください。

## 危険

- 下記の用途に使用しないでください。
  - 1.人命および身体の維持、管理等に関する医療器具
  - 2.人の移動や搬送を目的とする機構、機械装置
  - 3.機械装置の重要保安部品当該製品は、高度な安全性を必要とする用途に向けて企画、設計されていません。人命を損なう可能性があります。
- 発火物、引火物等の危険物が存在する場所で使用しないでください。当該製品は防爆形ではありません。発火、引火の可能性があります。
- 製品を取り付ける際には、必ず確実な保持、固定(ワークを含む)を行ってください。製品の転倒、落下、異常作動等によって、ケガをする可能性があります。
- 製品は絶対に改造しないでください。異常作動によるケガの原因になります。
- 製品の基本構造や性能・機能に関わる不適切な分解組立、修理は行なわないでください。ケガなどの原因になります。
- 製品に水をかけないでください。水をかけたり、洗浄したり、水中で使用したりすると、異常作動によるケガなどの原因になります。
- 製品の作動中は、手を触れたり身体を近付けたりしないでください。また、作動中の製品に内蔵または付帯する機構(ロックの解除、配管チューブや封止プラグの離脱、製品の取付位置調節等)の調節作業を行なわないでください。  
製品の落下、異常作動、流体噴出によって、ケガをする可能性があります。

## 警告

- 当社製品は多様な条件下で使用されるため、そのシステムの適合性の決定は、システム設計の責任者が十分に評価した上で行なってください。  
システムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した設計者の責任になります。最新のカタログ、技術資料により、仕様の内容を十分に検討評価し、機器の故障の可能性について考慮していただき、フェイルセーフ等の安全性・信頼性を確保したシステムを構成してください。
- 製品の仕様範囲外では使用しないでください。仕様範囲外で使用すると、製品の故障、機能停止や破損の原因となります。また著しい寿命の低下を招きます。
- 製品にエアを供給する前および作動させる前には、必ず機器の作動範囲の安全確認を行ってください。不用意にエアを供給すると、作動部との接触によりケガをする可能性があります。
- 製品は火中に投じないでください。製品が破裂したり、有毒ガスが発生したりする可能性があります。
- 製品の上に乗ったり、足場にしたり、物を置いたりしないでください。転落事故、製品の転倒、落下によるケガ、製品の破損、損傷による誤作動、暴走等の原因になります。
- 製品に関わる保守点検、整備、または交換等の各種作業は、必ずエアの接続を完全に遮断して、製品および製品が接続されている配管内の圧力が大気圧になったことを確認してから行なってください。特にコンプレッサとエアタンクには、圧力が残留していますので注意してください。  
配管内に圧力が残留していると、アクチュエータが不意に動くなどして、ケガをする可能性があります。
- 非常停止、停電などシステムの異常時に、機械が停止する場合、装置の破損・人身事故などが発生しないよう、安全回路あるいは装置の設計をしてください。
- 製品の配管は「カタログ」等で確認しながら正しく行なってください。誤った配管をするとアクチュエータ等の異常作動の原因になります。
- 海浜直射日光下や水銀燈付近などやオゾンの発生する装置近くで使用しないでください。オゾンによるゴム部品の劣化で性能・機能の低下や機能停止の原因になります。(オゾン対策品を除く)
- 仕様表に示す流体以外は使用しないでください。仕様外の流体を使用すると短期間での機能停止、急激な性能低下もしくは寿命の低下を招きます。
- 周囲に熱源があり、輻射熱を受ける場所では使用しないでください。



## 安全上のご注意 (クイック継手付レギュレータ)

- 調圧ツマミは、平常運転開始前に必ずロックしてください。  
誤作動の原因になります。
- 直射日光(紫外線)のあたる場所、高温多湿の場所、塵埃、塩分、鉄粉のある場所、流体および雰囲気中に有機溶剤、リン酸エステル系作動油、亜硫酸ガス、塩素ガス、酸類等が含まれている時は、使用しないでください。短期間での機能停止、急激な性能低下もしくは寿命の低下を招きます。なお材質については各主要部材質を参照してください。
- 2次側の圧力変動が大きく、圧力が設定値を超えるような使い方はしないでください。リリーフ弁を目的として設計されていませんので機器の破損、作動不良の原因となる可能性があります。このような場合、別に安全装置を取付けてご使用ください。

### 注意

- 製品の取り付けには、作業スペースの確保をお願いします。作業スペースの確保がされないと日常点検や、メンテナンスなどができなくなり装置の停止や製品の破損につながります。
- 製品の上に乗ったり、足場にしたり、物を置くことにより本体への傷、打痕、変形を与えないでください。製品の破損、損傷による作動停止や性能低下の原因になります。
- 据付・調整等の作業をする場合は、不意にエアが入らぬよう作業中の表示をしてください。不意にエア源が入ると突然の作動によりケガをする可能性があります。
- 空気圧機器のエア漏れはゼロではありません。  
圧力容器内の圧力保持などの用途には、必要な容積、保持時間を考慮した設計をしてください。  
保持力の低下により、ワークの落下や位置ずれ、装置の破損、ケガの可能性があります。

### お願い

- 「カタログ」、「取扱説明書」等に記載のない条件や環境での使用、および航空施設、燃焼装置、娯楽機械、安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途への使用をご検討の場合は、定格、性能に対し余裕を持った使い方やフェイルセーフ等の安全対策に十分な配慮をしてください。  
なお、必ず当社営業担当までご相談ください。
- 製品を扱う場合は、必要に応じて保護手袋、保護メガネ、安全靴等を着用して安全を確保してください。
- 製品が使用不能、または不要になった場合は、産業廃棄物として適切な廃棄処理を行なってください。
- 空気圧機器は寿命による性能・機能の低下があります。空気圧機器は日常点検を実施し、システム上必要な機能を満たしていることを確認して未然に事故を防いでください。
- 製品に関してのお問い合わせは、最寄りの当社営業所または技術サービスセンターにお願いいたします。住所と電話番号はカタログの巻末に表示してあります。

### その他

- 下記の事項を必ずお守りください。
  1. 当該製品を使用して空気圧システムを組む場合は当社の純正部品または適合品(推奨品)を使用すること。  
保守整備等を行なう場合、当社純正部品、または適合品(推奨品)を使用すること。  
所定の手段・方法を守ること。
  2. 製品の基本構造や性能・機能に関わる、不適切な分解組立は行わないこと。

#### 保証および免責事項

##### 1. 保証期間

当社製品についての保証期間は、製品納入後1年間です。  
※一部2年保証の製品がありますので、最寄の当社営業所または技術サービスセンターにご確認ください。

##### 2. 保証の範囲および免責事項

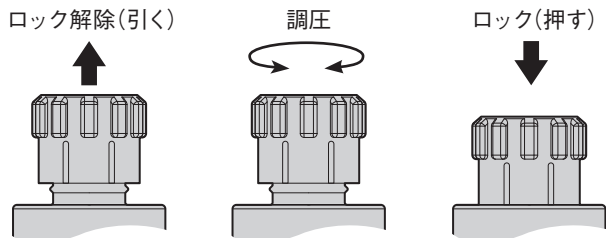
- (1) 当社および正規販売店・代理店で購入された製品が、保証期間内に当社の責により故障が生じた場合には、無償修理もしくは無償交換をいたします。また保証期間内であっても、製品には作動回数などの寿命を定めているものがありますので、最寄の当社営業所または技術サービスセンターにご確認ください。
- (2) 当社製品の保証は製品単体の保証です。したがって、当社製品の故障および機能低下、性能低下に起因した付随的損害(本製品の修理、交換に要した諸費用など)に関しては、当社は一切責任を負いません。
- (3) 当社製品の故障および機能低下、性能低下により誘発された損害、もしくはそれに起因した他の機器の損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- (4) 当社カタログおよび、取扱説明書に記載されている製品仕様の範囲を超えた使用や保管、および取付け、据付、調整、保守等の注意事項に記載された以外の行為がされた場合の損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- (5) 当社の責任以外での火災や、天災、第三者による行為、お客様の故意または、過失等により当社製品が故障した場合の損害に関しては、当社は一切責任を負いません。

## ●圧力調整方法

### 1. 圧力の調整

圧力の調整は、調圧ツマミを上方向に引き、ロックを解除した状態で行ってください。

この時調圧ツマミに必要以上の力をかけないようにしてください。破損の原因となる可能性があります。



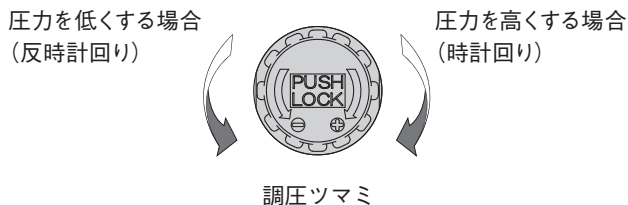
### 2. 圧力を高くする場合

レギュレータの調圧ツマミを全開状態から時計回りに回転させると圧力が高くなります。

希望する圧力になりましたら、必ず調圧ツマミを押し、設定圧力が変化しないようにロックしてください。

### 3. 圧力を低くする場合

レギュレータの調圧ツマミを回しすぎたら（圧力が高くなりすぎたら）反時計回りに回転させるとリリース機構が働き圧力が低くなります。その後、「2.圧力を高くする場合」と同様の調整を行ってください。希望する圧力になりましたら、必ず調圧ツマミを押し、設定圧力が変化しないようにロックしてください。



1. 圧力設定は、上昇方向(時計回り)で設定してください。下降方向(反時計回り)では、正確な設定ができません。
2. 調圧ツマミを全開状態から反時計回り、または全閉状態から時計回りに過剰に回さないでください。調圧ツマミ、本体の破損の原因となります。また調圧ねじと調圧ナットの固着により調圧ツマミのトルクが高くなる原因となります。
3. 調圧ツマミは押すとロックされ、引くと解除されます。調圧後は必ずロック状態にしてください。ロックしない状態で使用するとツマミが回転し圧力が変化する恐れがあります。
4. 調圧ツマミを押込む際に回転の位置によってはロック状態とロック解除状態の中間位置で停止することがあります。この状態では完全にロックできていないため、ロック状態の位置まで調圧ツマミが押込まれていることを確認してください。
5. ロック状態で調圧ツマミを無理に回さないでください。ロック機構部が破損する恐れがあります。
6. 圧力計付機種の圧力計の向きは、任意の向きに回転させることができます。圧力計キャップに過度な力を加えると圧力計の破損、示度不良の原因となりますので、根元付近を掴み回転させてください。
7. 圧力計の圧力指示精度は、 $\pm 5\%$ (F.S.)です。精度を必要とする場合は、別に相応の圧力計にて圧力を確認し調整してください。
8. 2次側を大気開放させると流量の影響により共振する場合があります。内部破損などの故障が発生する危険性がありますので、長時間にわたる2次側大気開放での使用は避けてください。

## ●取付 (RTLTP □ - □の場合)

### 1. 本体取付上の注意

- ① 本体の外径六角部を利用し適正な工具を使用して締付けてください。
- ② ねじを取付ける際、下表の推奨締付けトルクを参照に締付けてください。推奨締付けトルク以上で締付けた場合、ねじ部の折れやガスケットの変形による漏れの原因となる可能性があります。また、推奨締付けトルク以下で締付けた場合、ねじの緩みや漏れの原因となる可能性があります。

推奨締付けトルク

ねじ種類	ねじサイズ	締付けトルク
メートルねじ	M5×0.8	1 ~ 1.5N・m
管用テーパねじ	R1/8	4.5 ~ 6.5N・m
	R1/4	7 ~ 9N・m

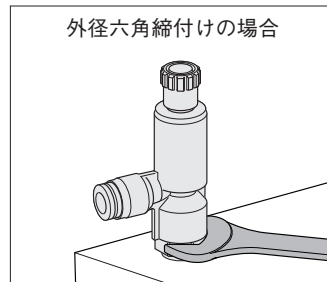
### 2. 本体取外し上の注意

- ① 本体の外径六角部を利用し、適正な工具を使用して取外してください。
- ② 取外した相手側のねじ部に付着しているシール剤を除去してください。シール剤が付着していると周辺機器に入り込み故障の原因となる可能性があります。

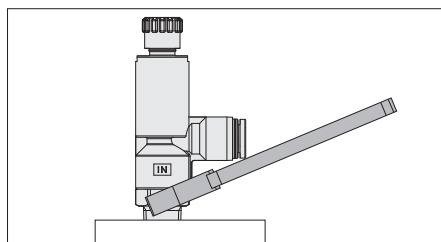
### 3. ねじの締付方法

ねじの締付けは、外径六角部をスパナで締付けます。

外径六角締付けの場合



1. クイック継手付レギュレータのシール剤はそのまま数回の再使用が可能です。相手機器のねじ部にシール剤が付着していることがあります。機器のめねじ内部は必ず掃除をしてください。
2. 配管施工時、締付工具をねじ部本体の六角面に対して水平に回してください。図のように樹脂本体に接触させた場合は本体破損の原因となる可能性があります。

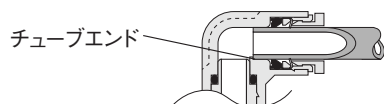




## ●チューブの着脱

### チューブ装着上の注意

- ① チューブの切断面が直角に切断されていること、チューブ外径にキズがないこと、及びチューブが精円でないことを確認してください。
- ② チューブを装着する際、チューブがチューブエンドまで差し込まれていないと漏れの原因となる可能性があります。



- ③ 装着後、チューブを引いて抜けないことを確認してください。
- ④ チューブ装着前に、開放リングを空押ししないでください。チューブが抜ける原因となる可能性があります。

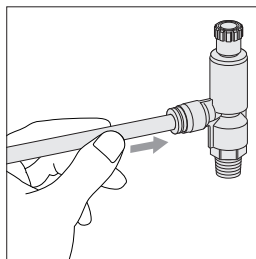
### チューブ取外し上の注意

- ① チューブを取外す際、チューブ内の圧力がゼロになっていることを確認してください。
- ② 開放リングを均等に奥まで押し込み、チューブを手前に引き抜いてください。押し込みが不十分の場合、抜けなかったり又はチューブが傷付き削れかすが継手内部に残る可能性があります。

### チューブの着脱方法

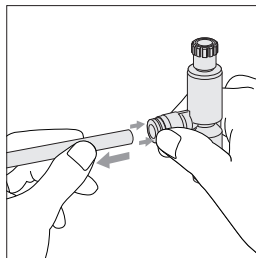
#### ① チューブの装着

クイック継手付レギュレータは、チューブをチューブエンドまで差し込むだけでロック爪が固定、弾性体スリーブがチューブの外周をシールします。



#### ② チューブの取外し

チューブを取外す場合、開放リングを押すことによりロック爪が開き、チューブを抜くことができます。取外しの際は、必ずエアを止めてから行ってください。



配管スペースが狭くて離脱が困難な場合には、専用工具が用意されていますので最寄りの当社営業所へご相談ください。

### チューブ離脱用専用工具

φ3・φ4・φ6 チューブ用  
注文記号: UJ-1



φ6・φ8・φ10・φ12 チューブ用  
注文記号: UJ-2



## ●使用チューブ

ナイロンチューブ、ウレタンチューブのいずれも使用できます。チューブの外径精度は、ナイロンチューブは呼称寸法の±0.1mm以内、ウレタンチューブは呼称寸法の±0.15mm以内、精円度(長径と短径の差)は0.2mm以内のものを使用してください。(当社製チューブの使用を推奨します。)なお、当社の純正品または適合品(推奨品)以外のチューブを使用した場合、チューブ抜け、エア漏れ等の不具合が発生する可能性がありますので、空気圧システムを組む前に必ずご確認ください。



1. チューブは外面に傷のないものを使用してください。繰り返し使用して傷がついた場合はその部分を切断してください。
2. チューブは継手付近で極端に曲げたりこじったりしないでください。エア漏れの原因となります。ナイロンチューブ、ウレタンチューブを使用した場合の最小曲げ半径のめやすは下表の通りです。
3. 極軟質チューブの使用は引抜強度が著しく低下しますので使用しないでください。
4. チューブ着脱時は、必ず空気源の供給を止めてください。また必ず配管内のエアが完全に排気された事を確認してから行ってください。

mm

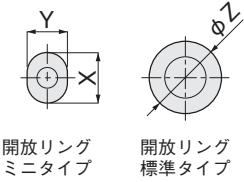
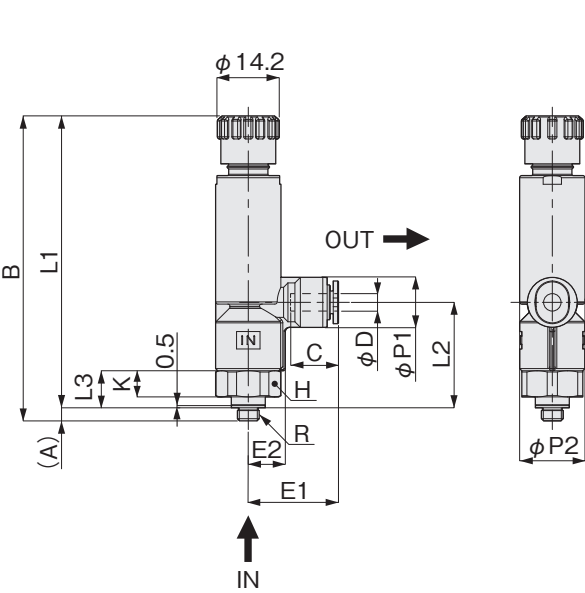
チューブサイズ	最小曲げ半径	
	ナイロンチューブ	ウレタンチューブ
φ4	20	10
φ6	30	15
φ8	50	20

寸法図（エルボ・圧力計なし）（mm）

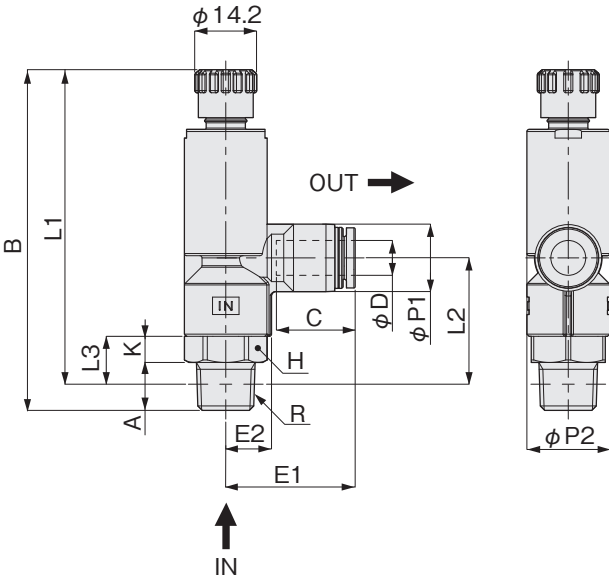
RTLP □ - □



メートルねじ



管用テーパねじ



基本形式	チューブ 外径 ϕD	R	A	B		L1		L2	L3	ϕP1	ϕP2	チューブ エンド C	E1	E2	対辺 H	K	開放リング			質量 (g)
				MAX.	MIN.	MAX.	MIN.										外径 ϕZ	X	Y	
RTLP4-M5	4	M5×0.8	3	70	67.4	67	64.4	24.2	8.5	11.5	15	11	20.7	8.5	14	6	—	9.8	7.8	26
RTLP4-01		R1/8	8	71.5	68.9	67.5	64.9	24.7	9											
RTLP6-M5	6	M5×0.8	3	70	67.4	67	64.4	24.2	8.5	11.5	15	11.6	21.1	8.5	14	6	—	11.8	9.8	26
RTLP6-01		R1/8	8	71.5	68.9	67.5	64.9	24.7	9											
RTLP6-02	8	R1/4	11	78.2	75.6	72.2	69.6	29	11	15.5	19	17	29.8	10.5	17	6	11.8	—	—	46
RTLP8-01		R1/8	8	71.5	68.9	67.5	64.9	24.7	9											
RTLP8-02		R1/4	11	78.2	75.6	72.2	69.6	29	11											

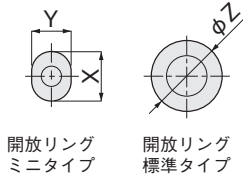
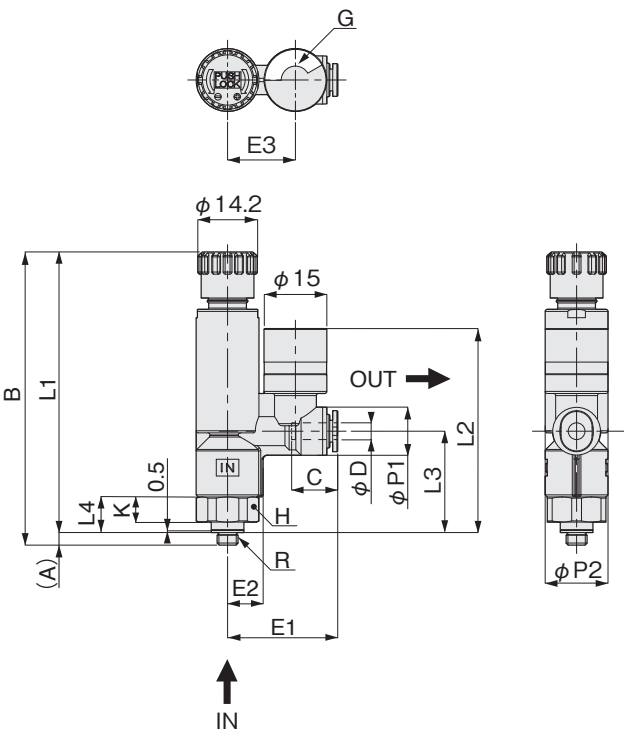
注：管用テーパねじの L1、L2 寸法は、ねじ締付け後の参考寸法です。

寸法図 (エルボ・圧力計付) (mm)

RTLP □ - □ - G



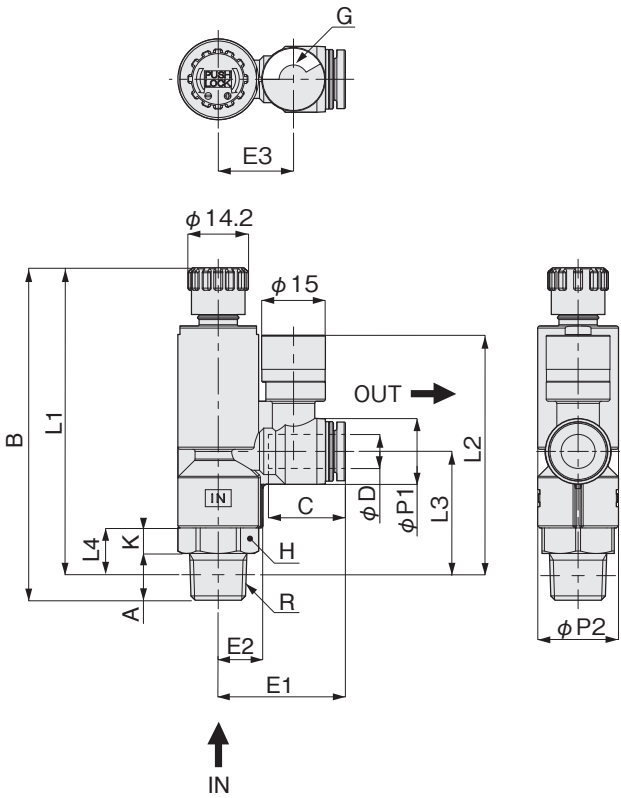
メートルねじ



G 部拡大図



管用テーパねじ

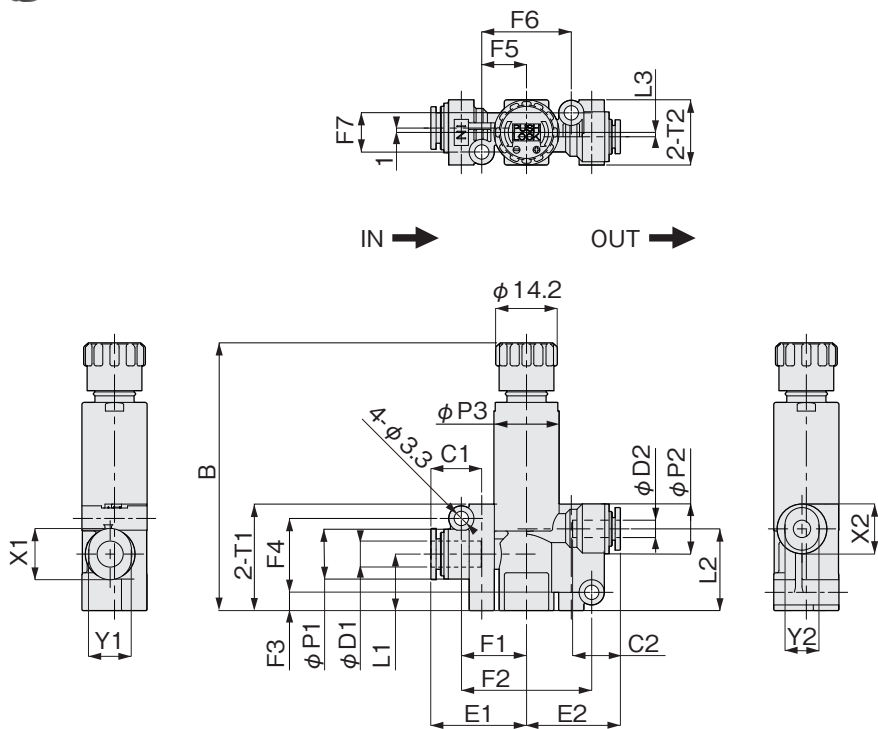
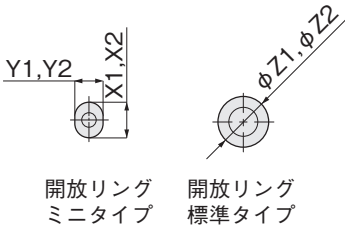


基本形式	チューブ 外径 φD	R	A	B		L1		L2	L3	L4	φP1	φP2	チューブ エンド C	E1	E2	E3	対辺 H	K	開放リング			質量 (g)
				MAX.	MIN.	MAX.	MIN.												外径 φZ	X	Y	
RTLP4-M5-G	4	M5×0.8	3	70	67.4	67	64.4	48.7	24.2	8.5	11.5	15	11	26.3	8.5	16.2	14	6	—	9.8	7.8	29
RTLP4-01-G		R1/8	8	71.5	68.9	67.5	64.9	49.2	24.7	9								5				
RTLP6-M5-G	6	M5×0.8	3	70	67.4	67	64.4	48.7	24.2	8.5	11.5	15	11.6	26.7	8.5	16.2	14	6	—	11.8	9.8	29
RTLP6-01-G		R1/8	8	71.5	68.9	67.5	64.9	49.2	24.7	9								5				
RTLP6-02-G		R1/4	11	78.2	75.6	72.2	69.6	56.3	29	11								15.5				
RTLP8-01-G	8	R1/8	8	71.5	68.9	67.5	64.9	52	24.7	9	15.5	15	18.1	28.4	8.5	16.2	14	5	13.8	—	—	31
RTLP8-02-G		R1/4	11	78.2	75.6	72.2	69.6	56.3	29	11		19		29.9	10.5	17.7	17	6				

注：管用テーパねじの L1、L2 寸法は、ねじ締付け後の参考寸法です。

寸法図（ユニオン・圧力計なし）（mm）

RTUP □ - □

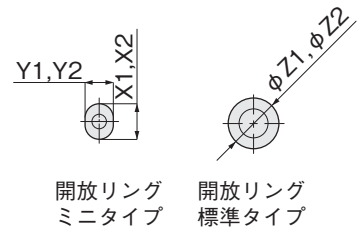
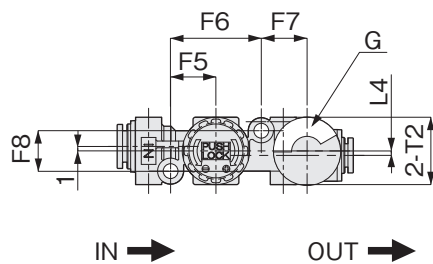


基本形式	チューブ 外径 φD1	チューブ 外径 φD2	B		L1	L2	L3	φP1	φP2	φP3	チューブ エンド C1	チューブ エンド C2	E1	E2
			MAX.	MIN.										
RTUP4-4	4	4	61.6	59	13	18.8	1	11.5	11.5	15	11	11	21.6	21.6
RTUP6-4	6	4	61.6	59	13	18.8	1	11.5	11.5	15	11.6	11	22	21.6
RTUP6-6		6										11.6	22	22
RTUP8-6	8	6	65.7	63.1	15	22.5	—	15.5	15.5	19	18.1	17	28.6	28.7
RTUP8-8		8										18.1	28.6	28.6

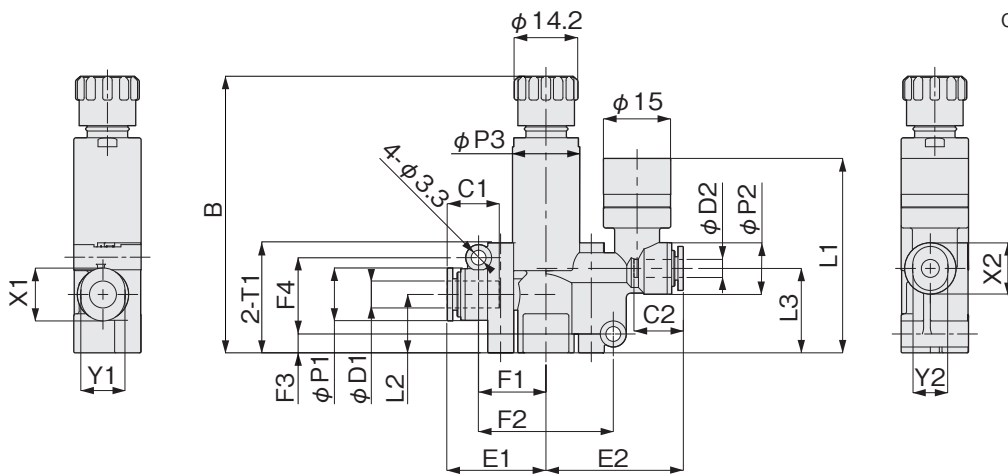
基本形式	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	T1	T2	開放リング						質量 (g)
										φZ1	X1	Y1	φZ2	X2	Y2	
RTUP4-4	15	30	4.2	17	10.3	20.6	9	24.5	15	—	9.8	7.8	—	9.8	7.8	19
RTUP6-4	15	30	4.2	17	10.3	20.6	9	24.5	15	—	11.8	9.8	—	9.8	7.8	20
RTUP6-6														11.8	9.8	
RTUP8-6	19.8	39.6	4	21.5	11.7	23.4	13	28.4	19	13.8	—	—	11.8	—	—	32
RTUP8-8													13.8	—	—	33

寸法図（ユニオン・圧力計付）（mm）

RTUP □ - □ - G



G 部拡大図



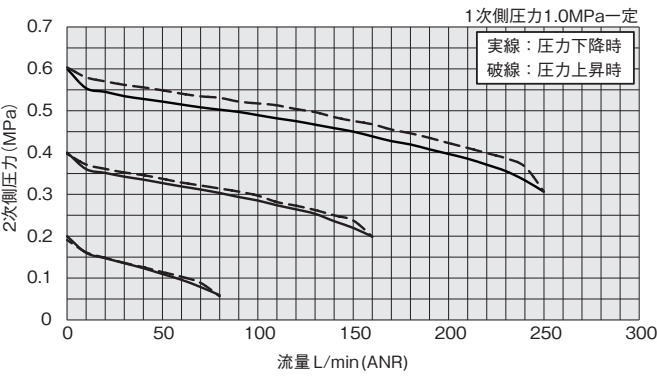
基本形式	チューブ 外径 φD1	チューブ 外径 φD2	B		L1	L2	L3	L4	φP1	φP2	φP3	チューブ エンド C1	チューブ エンド C2	E1	E2
			MAX.	MIN.											
RTUP4-4-G	4	4	61.6	59	43.3	13	18.8	1	11.5	11.5	15	11	11	21.6	30.6
RTUP6-4-G	6	4	61.6	59	43.3	13	18.8	1	11.5	11.5	15	11.6	11	22	30.6
RTUP6-6-G		6											11.6		31
RTUP8-6-G	8	6	65.7	63.1	49.8	15	22.5	—	15.5	15.5	19	18.1	17	28.6	33
RTUP8-8-G		8											18.1		32.9

基本形式	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	T1	T2	開放リング						質量 (g)
											φZ1	X1	Y1	φZ2	X2	Y2	
RTUP4-4-G	15	30	4.2	17	10.1	20.2	10.2	9	24.5	15	—	9.8	7.8	—	9.8	7.8	23
RTUP6-4-G	15	30	4.2	17	10.1	20.2	10.2	9	24.5	15	—	11.8	9.8	—	9.8	7.8	23
RTUP6-6-G														—	11.8	9.8	
RTUP8-6-G	19.9	39.7	4.1	21.3	11.6	23.2	9.1	13	28.4	19	13.8	—	—	11.8	—	—	36
RTUP8-8-G														13.8			

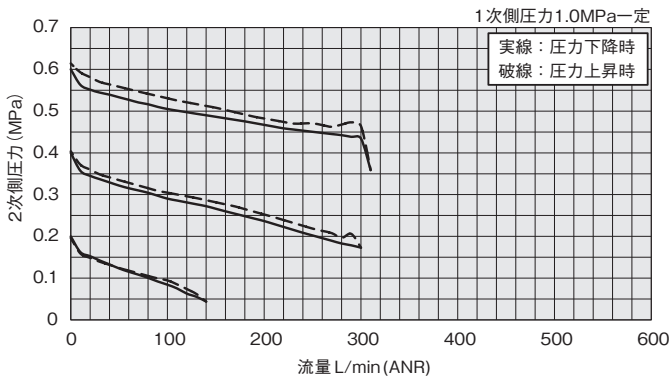


流量特性、圧力特性

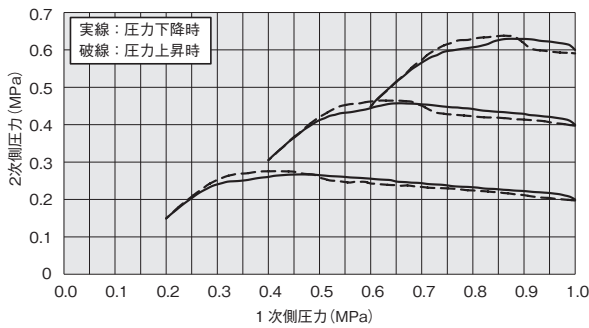
■流量特性  
RTLP4-M5, RTLP4-M5-G



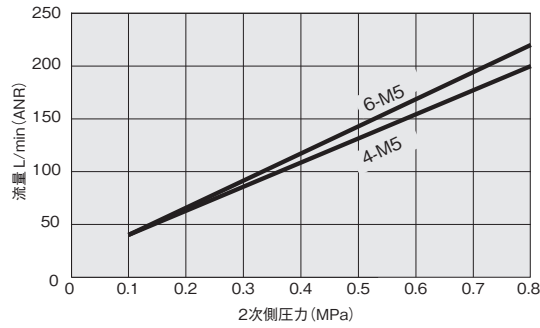
■流量特性  
RTLP6-M5, RTLP6-M5-G



■圧力特性<sup>注1</sup>  
RTLP4-M5, RTLP4-M5-G  
RTLP6-M5, RTLP6-M5-G



■自由流量<sup>注2</sup>  
RTLP4-M5, RTLP4-M5-G  
RTLP6-M5, RTLP6-M5-G

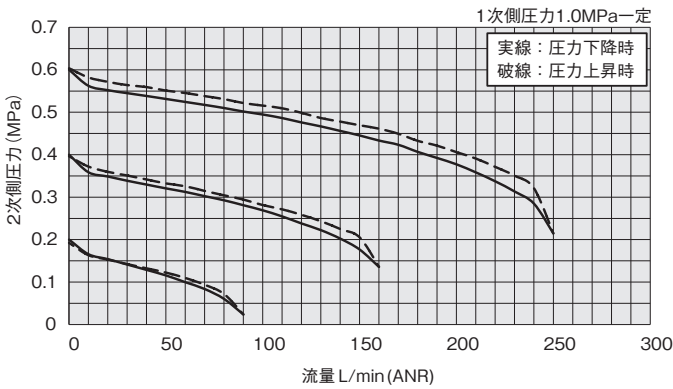


注1：1次側圧力1.0MPa→規定圧力（0.2,0.4,0.6MPa）→1.0MPaと変動します。  
注2：2次側→1次側への流量です。

流量特性、圧力特性

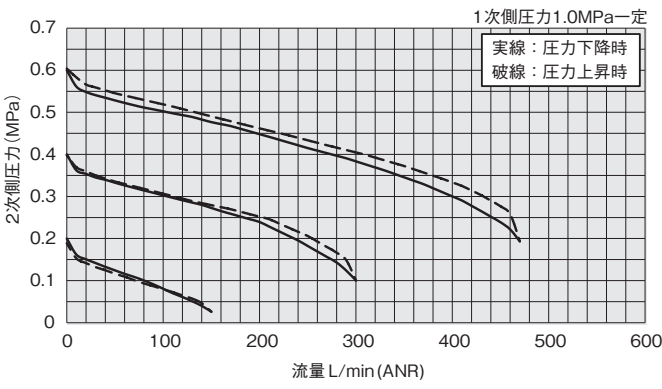
■流量特性

RTL4-01, RTL4-01-G



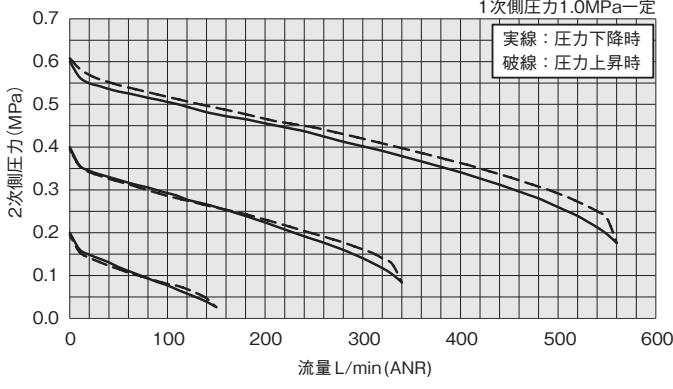
■流量特性

RTL6-01, RTL6-01-G



■流量特性

RTL8-01, RTL8-01-G

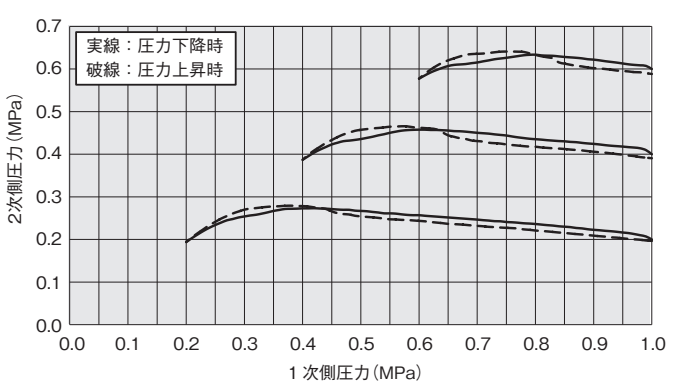


■圧力特性<sup>注1</sup>

RTL4-01, RTL4-01-G

RTL6-01, RTL6-01-G

RTL8-01, RTL8-01-G

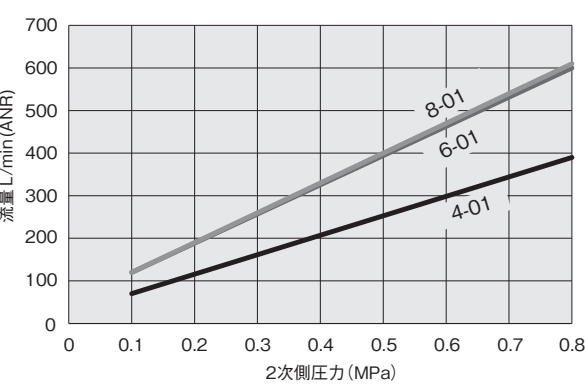


■自由流量<sup>注2</sup>

RTL4-01, RTL4-01-G

RTL6-01, RTL6-01-G

RTL8-01, RTL8-01-G

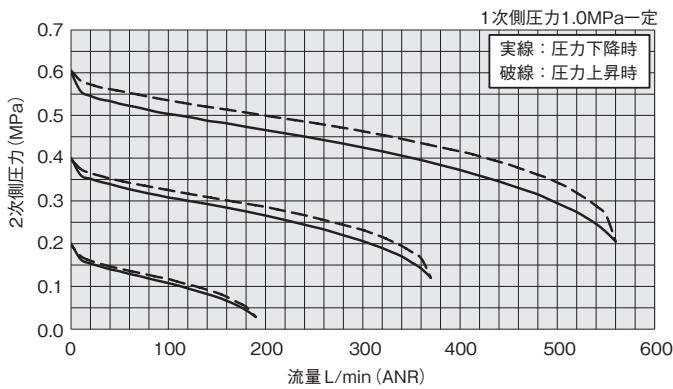


注 1 : 1 次側圧力 1.0MPa→規定圧力 (0.2,0.4,0.6MPa)→1.0MPaと変動します。  
2 : 2 次側→1 次側への流量です。

流量特性、圧力特性

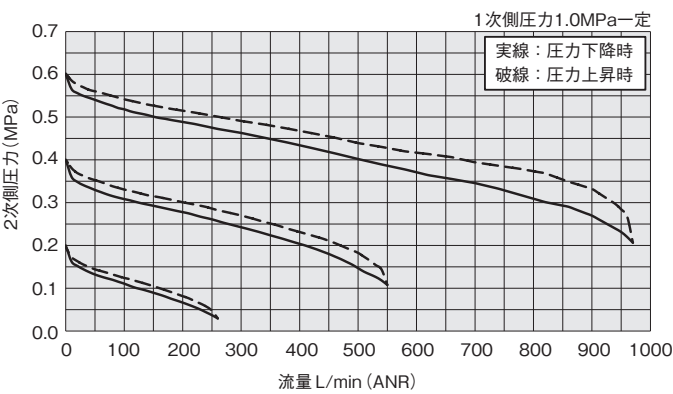
■流量特性

RTLP6-02, RTLP6-02-G



■流量特性

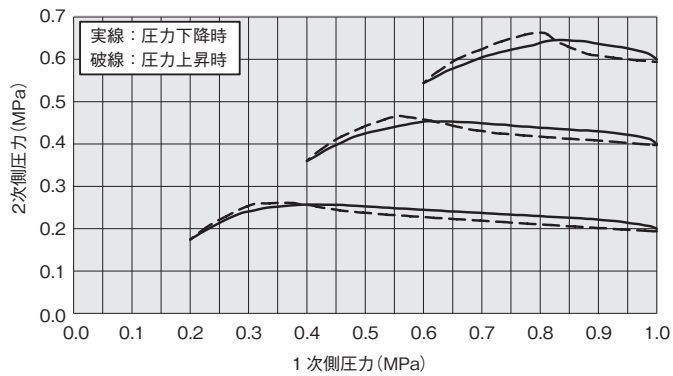
RTLP8-02, RTLP8-02-G



■圧力特性<sup>注1</sup>

RTLP6-02, RTLP6-02-G

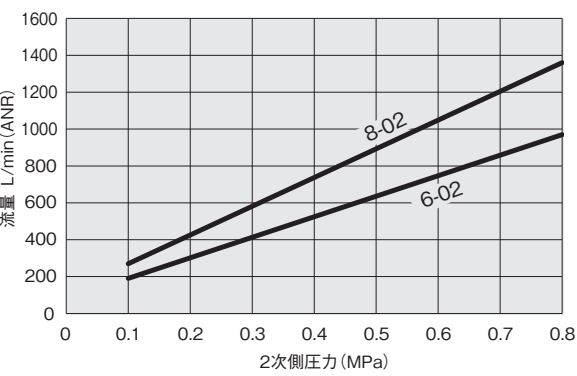
RTLP8-02, RTLP8-02-G



■自由流量<sup>注2</sup>

RTLP6-02, RTLP6-02-G

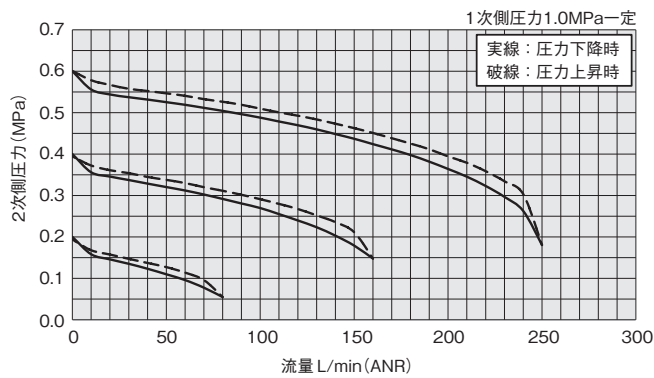
RTLP8-02, RTLP8-02-G



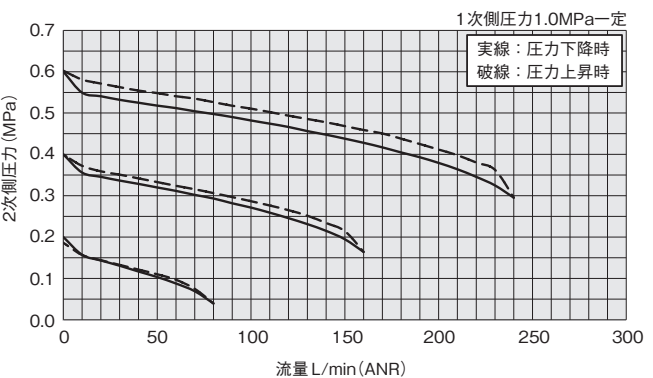
注1：1次側圧力1.0MPa→規定圧力（0.2,0.4,0.6MPa）→1.0MPaと変動します。  
2：2次側→1次側への流量です。

流量特性、圧力特性

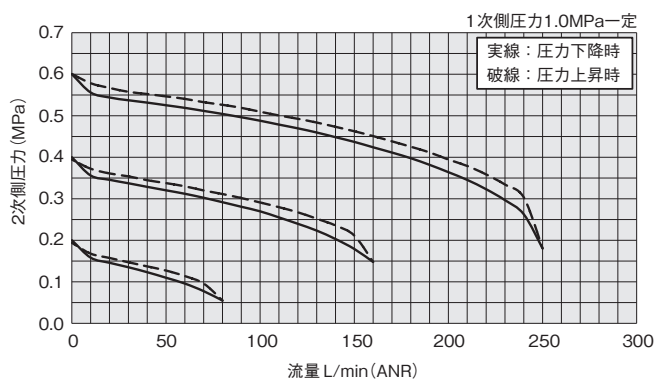
■流量特性  
RTUP4-4, RTUP4-4-G



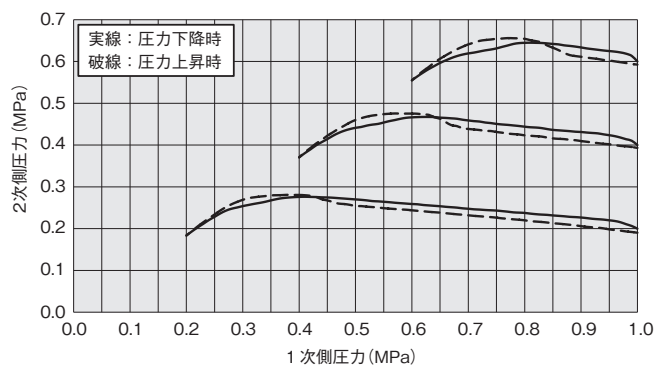
■流量特性  
RTUP6-4, RTUP6-4-G



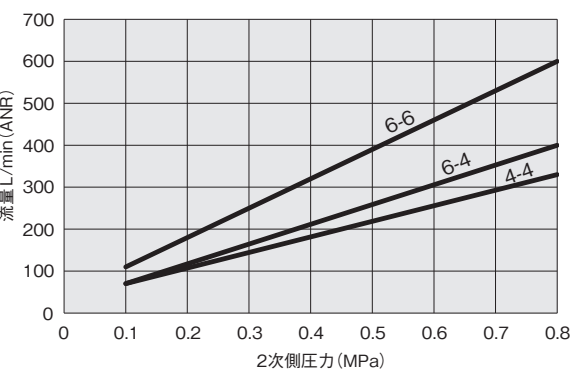
■流量特性  
RTUP6-6, RTUP6-6-G



■圧力特性<sup>注1</sup>  
RTUP4-4, RTUP4-4-G  
RTUP6-4, RTUP6-4-G  
RTUP6-6, RTUP6-6-G



■自由流量<sup>注2</sup>  
RTUP4-4, RTUP4-4-G  
RTUP6-4, RTUP6-4-G  
RTUP6-6, RTUP6-6-G

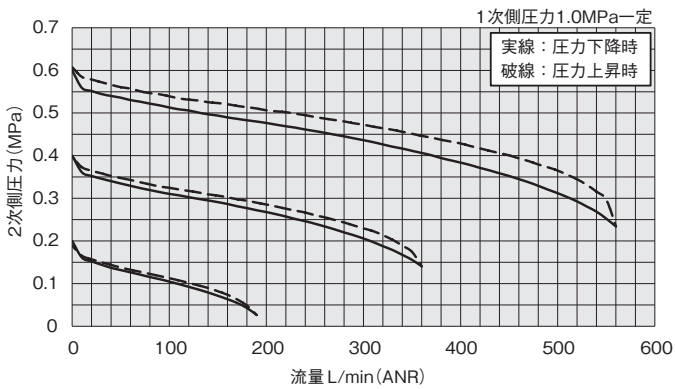


注1：1次側圧力1.0MPa→規定圧力（0.2,0.4,0.6MPa）→1.0MPaと変動します。  
2：2次側→1次側への流量です。

流量特性、圧力特性

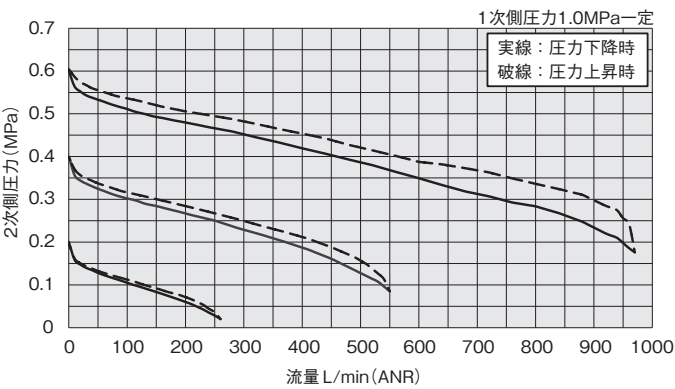
■流量特性

RTUP8-6, RTUP8-6-G



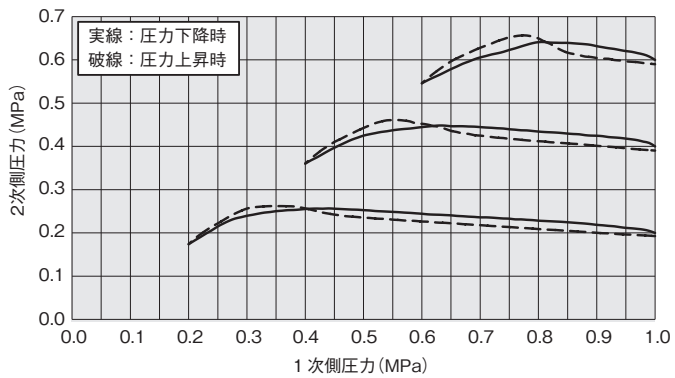
■流量特性

RTUP8-8, RTUP8-8-G



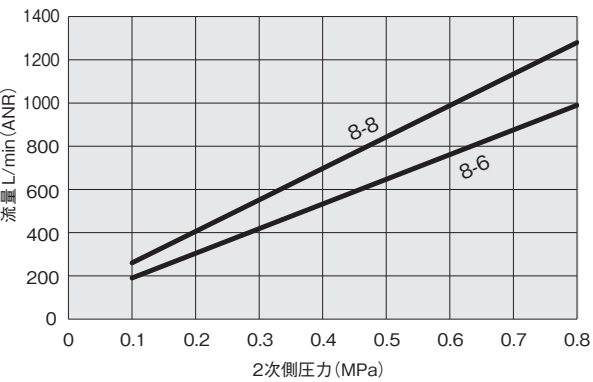
■圧力特性<sup>注1</sup>

RTUP8-6, RTUP8-6-G  
RTUP8-8, RTUP8-8-G



■自由流量<sup>注2</sup>

RTUP8-6, RTUP8-6-G  
RTUP8-8, RTUP8-8-G



注1：1次側圧力1.0MPa→規定圧力（0.2,0.4,0.6MPa）→1.0MPaと変動します。  
2：2次側→1次側への流量です。



[illegible]



# 株式会社コガネイ

□本社 □営業本部 □海外営業部  
184-8533 東京都小金井市緑町 3-11-28

- 仙台営業所 984-0015 仙台市若林区卸町1-6-15 卸町セントラルビル4F  
TEL (022) 232-0441 FAX (022) 232-0062
- 山形営業所 990-0828 山形市双葉町2-4-38 双葉中央ビル2F  
TEL (023) 643-1751 FAX (023) 643-1752
- 宇都宮出張所 321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷4-4-1 藤田ビル203号  
TEL (028) 680-4720 FAX (028) 680-4730
- 群馬出張所 372-0812 群馬県伊勢崎市連取町3082-1 シルクタウンE号室  
TEL (0270) 40-7651 FAX (0270) 40-6733
- 茨城出張所 300-1207 茨城県牛久市ひたち野東1-29-2 プロGRESS 壱番館102  
TEL (029) 830-7076 FAX (029) 830-7077
- 千葉出張所 273-0031 千葉県船橋市西船4-19-3 西船成島ビル7階D室  
TEL (047) 431-3161 FAX (047) 431-3163
- 東京営業所 105-0023 東京都港区芝浦1-8-4 エムジー芝浦3F  
TEL (03) 6436-5481 FAX (03) 6436-5491
- 西東京営業所 184-8533 東京都小金井市緑町3-11-28  
TEL (042) 383-7122 FAX (042) 383-7133
- 北関東営業所 331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町3-527-1 第二シマ企画ビル5F  
TEL (048) 662-6951 FAX (048) 662-7606
- 南関東営業所 243-0014 神奈川県厚木市旭町1-8-6 パストラルビル3F 302  
TEL (046) 220-1851 FAX (046) 220-1850
- 長野営業所 399-4102 長野県駒ヶ根市飯坂2-6-1  
TEL (0265) 83-7111 FAX (0265) 82-5535
- 長岡出張所 940-0061 新潟県長岡市城内町3-5-1 レーベン長岡205  
TEL (0258) 31-8801 FAX (0258) 31-8831
- 金沢営業所 921-8011 石川県金沢市入江2-54 中村ビル5F  
TEL (076) 292-1193 FAX (076) 292-1195
- 静岡営業所 422-8066 静岡市駿河区泉町2-3 アズマビル4F  
TEL (054) 286-6041 FAX (054) 286-8483
- 浜松出張所 430-0929 静岡県浜松市中区中央1-3-6 浜松イーストセブン206号  
TEL (053) 459-1855 FAX (053) 459-1857
- 名古屋営業所 464-0858 名古屋市千種区千種3-25-19 第1シロキビル5F  
TEL (052) 745-3820 FAX (052) 745-3821
- 刈谷出張所 472-0026 愛知県知立市東上重原4-123 MTビル2F  
TEL (0566) 84-5336 FAX (0566) 85-0228
- 京都営業所 600-8177 京都市下京区鳥丸通五条下ル大坂町391 第10長谷ビル7F  
TEL (075) 344-8811 FAX (075) 344-8815
- 大阪営業所 532-0004 大阪市淀川区西宮原2-7-38 新大阪西浦ビル8F  
TEL (06) 6398-6131 FAX (06) 6398-6135
- 神戸営業所 650-0017 兵庫県神戸市中央区楠町6-2-4 ハーバースカイビル7F  
TEL (078) 371-0511 FAX (078) 371-0510
- 広島営業所 730-0041 広島市中区小町3-19 リファレンス広島小町ビル5F  
TEL (082) 546-2351 FAX (082) 546-2352
- 福岡営業所 812-0011 福岡市博多区博多駅前2-19-29 博多相互ビル4F  
TEL (092) 411-5526 FAX (092) 451-2895
- 熊本営業所 862-0913 熊本県熊本市東区尾ノ上2-3-33  
TEL (096) 383-7171 FAX (096) 383-7172

駐在所 □札幌 □岩手 □秋田 □郡山 □甲府 □上田 □富山  
□福井 □滋賀 □岡山 □松山 □徳島 □北九州 □南九州

- 海外営業グループ  
184-8533 東京都小金井市緑町3-11-28  
TEL (042) 383-7271 FAX (042) 383-7276
- KOGANEI International America, Inc. (アメリカ)
- 上海小金井国際貿易(中国) ○台湾小金井貿易(台湾)
- KOGANEI KOREA CO.,LTD. (韓国)
- KOGANEI (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
- KOGANEI AUTOMATION (MALAYSIA) SDN,BHD. (マレーシア)
- KOGANEI ASIA PTE. LTD. (シンガポール)

工場 □東京(小金井) □長野(駒ヶ根) ○九州コガネイ(都城)  
○上海小金井電子(中国)  
○コガネイベトナム

流通センター □長野(駒ヶ根)  
□技術サービスセンター 184-8533 東京都小金井市緑町3-11-28  
TEL (042) 383-7172 FAX (042) 383-7206

## お客様技術相談窓口

フリーダイヤル

**0120-44-0944**

受付時間 9:00~12:00/13:00~17:30

(土日、休日、年末年始を除く)

お気軽にお問い合わせください。

- このカタログは2021年9月現在のものです。
- 記載されている仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。最新の情報は当社ホームページ等でご確認ください。